

【イベントレポート】未来を担うU-18 ポーランド代表選手へメッセージ ZAMST×ウィルフレド・レオン バレーボールトークイベント開催

ーパワフルなプレーを続ける秘訣は「身体のケア、リカバリー、ケガ予防」ー

スポーツ向けサポート・ケア製品ブランド「ZAMST(ザムスト)」を展開する、日本シグマックス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木 洋輔)は、契約アスリートであるウィルフレド・レオン選手をお招きし、U-18 ポーランド代表を対象とした「ZAMST×ウィルフレド・レオン バレーボールトークイベント」を、2024年8月25日にポーランド国内のチャンピオンシップスクールにて開催いたしました。



■ イベントレポート

イベントには、今夏の国際大会で準優勝を果たしたバレーボール男子ポーランド代表のウィルフレド・レオン選手と18名のU-18ポーランド代表選手、チームコーチ・スタッフが参加。レオン選手が登場すると、会場は大きな拍手と歓声に包まれました。トークイベントでは、レオン選手から参加した選手たちに向けて、国際大会での結果とそこでの自身のプレー、身体面のケアとケガ予防の重要性を伝えました。



▲ 盛大な拍手とともに登場するレオン選手



▲ トークイベントでは、身体面のケアやケガ予防についてお話し

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞

日本シグマックス株式会社 経営企画室 広報 緒方・峠

TEL:03-5326-3254 FAX:03-5326-3201 MAIL:kouhou@sigmax.co.jp (広報共有)

○「準優勝に対して喜びはもちろんあるが、金メダルが欲しかった。」

今夏の国際大会を終え、レオン選手はリラックスした様子でイベントに参加されました。大会後の休暇は家族と過ごし、レオン選手自身が熱中しリラックスすることができる釣りをするために 2 回海に行ったというエピソードを話しました。また、大会の結果については、「準優勝に対して喜びはもちろんあるが、私自身その結果に対して満足はしておらず、金メダルが欲しかった。だから、金メダルを獲るために、私はまだ戦うつもりです。」と、4 年後に向けた抱負について話しました。

○U-18 ポーランド代表選手たちに向けた、ケガをしないためのアドバイス

トークイベントの後半では、今日のプロスポーツにおける体のケア、リカバリー、ケガ予防の重要性についてレオン選手自身の経験・取り組みをもとに、参加選手に向けてアドバイスをしました。

14 歳でキューバのシニア代表選手として、早くから活躍していたレオン選手は、フィジカル・メンタル面において長年ハードな練習を乗り越え、プレーを続けてきました。身体面のケア方法においてユース年代とプロ選手とで変わったことについて聞かれると、レオン選手は「大きく変わった」と答え、「キューバにいた 10 代の頃は、簡単なトレーニング器具さえ手に入りませんでした。私にはコーチが 1 人いましたが、トレーニングや身体のケアをしてくれる専門スタッフはいませんでした。ウォーミングアップや普段のトレーニングを指導してくれるコーチだけでなく、身体のケアをしてくれるトレーナー、理学療法士、チームドクターなど、専門的なスタッフがそれぞれのチームに帯同する必要があると思います。代表チームに入って初めて、より良いケアを受けられるようになりました。」と話しました。



▲熱心に耳を傾ける選手たち



▲選手たちの質問に答えるレオン選手

若い頃を振り返り、レオン選手が必要だと思う取り組みとして、身体を自由かつスムーズに動かすことができる能力である『モビリティ(可動性)』を幼い頃から鍛えることを挙げました。また、「バレーボールのキャリアを考えるなら、膝、肩甲骨、背中、肩をケアする必要があります。だからこそ私は、筋肉と関節を保護し、スポーツ選手としてのキャリアを発展させる膝サポーターを提供するザムストと協力できることを嬉しく思っています。また、若い選手は、数多くの試合をこなすとともに、他のスポーツ活動もするため、身体を回復させることも忘れてはいけません。休息、良質な睡眠、食事についても同様です。」と、若い選手たちに対して、ケガを防ぐためのアドバイスをしました。

レオン選手は、以前に膝の大ケガをしたときのことを振り返り、「ケガをしながらプレーすることはとても難しいです。肉体的な痛みがあることと、自信がないことは別です。身体は自動的に脳に信号を送るから、リスクを冒すことや全力でプレーすることを無意識に恐れてしまい、自身のパフォーマンスを十分に発揮できないのです。でも、ザムストのサポーターは信頼できるから、装着していると自信を持って着地できます。負荷は常にあるものですが、ザムストのサポーターを使えば、身体の奥深くまで負荷が入り込むことはありません。プロテクターや装具があるのとないのとは、すぐに違いが感じられます。」と話しました。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

日本シグマックス株式会社 経営企画室 広報 緒方・峠

TEL:03-5326-3254 FAX:03-5326-3201 MAIL:kouhou@sigmax.co.jp (広報共有)

また、ポーランド女子チームの元選考委員であり、現在ポーランド男子 U-18 チームのヘッドコーチであるヤツェク・ナヴロツキ氏は、自分の体のことを一番よく知っているのは自分自身だとし、「レオン選手がバレーボールのキャリアをスタートさせた頃、ポーランドでは『高く跳べば跳ぶほど、身体に負荷がかかり、バレーボールのキャリアが短くなる』と言われていました。それが今では、身体のケア方法やケガ予防として使われる設備や機器の利用などの進歩により、バレーボール選手のキャリアはずっと長く続くようになりました。それと同時に、若いアスリートに対するプロフェッショナルで健康的なライフスタイルの包括的な教育がますます重視されるようになっていきます。」とも話しました。

トークイベントの後は、記念写真撮影やサイン会が行われたほか、質疑応答の時間が設けられました。レオン選手は、未来のポーランド代表である選手たちから投げかけられる質問に対して1つ1つ丁寧に答え、選手たちはその答えに対し熱心に耳を傾けていました。



▲サインを書くレオン選手



▲憧れであるレオン選手にサインを書いてもらう様子



▲レオン選手と記念写真を撮る参加選手



▲レオン選手がプレー時に装着しているサポーターに興味を持つ選手も

なお、イベントの様子をまとめた動画は以下の URL よりご覧いただけます。

https://youtu.be/w4QX_uKfir0?si=gblnQaxbqlcVSxP2



<本リリースに関するお問い合わせ先>

日本シグマックス株式会社 経営企画室 広報 緒方・峠

TEL:03-5326-3254 FAX:03-5326-3201 MAIL:kouhou@sigmax.co.jp (広報共有)

■トーキョーイベントの概要

開催日時(現地時間) 2024年8月25日 10:00-13:00
開催地 ポーランド国内のチャンピオンシップスクール
対象 U-18 ポーランド代表選手 18人、チームコーチ、理学療法士
主催 日本シグマックス株式会社(ザムスト)

■ウィルフレド・レオン選手 プロフィール https://www.zamst-online.jp/brand/about/partner/wilfredo_leon/

所属:BOGDANKA LUK Lublin (ボグダンカ・ルク・ルブリン) <https://lkpslublin.pl/>
ポジション:アウトサイドヒッター
生年月日:1993年7月31日
出身地:サンティアゴ・デ・クーバ(キューバ) ※2015年ポーランド国籍取得

【主な経歴】

2010年 世界選手権 2位 (キューバ代表)
2012年 ワールドリーグ 3位 (キューバ代表)
2015年 欧州チャンピオンズリーグ 優勝 (ロシア・スーパーリーグのゼニト・カザン)、MVP 受賞
2021年 東京五輪 ベスト8 (ポーランド代表)
2023年 バレーネーションズリーグ 優勝 (ポーランド代表)
2024年 パリ五輪 2位 (ポーランド代表)

■ZAMST(ザムスト)について <https://www.zamst-online.jp/>

ザムストは医療メーカーとして整形外科向け製品を開発・製造する日本シグマックス株式会社が1993年に設立したスポーツ向けサポート・ケア製品ブランドです。

誕生以来、医療の現場で培った知識と技術をベースに、ケガのリスクと常に隣り合わせで闘い続けるアスリートをサポートしてきました。

これまでの30年の経験や取り組みを礎とし、すべてのアスリートがパフォーマンスを最大限に引き出せるよう、これからも挑戦し続けてまいります。

※ザムストのブランドストーリーは下記リンクよりご覧いただけます。

<https://prtimes.jp/story/detail/ZrX5ojC7vvb>



■ZAMST パートナーズ <https://www.zamst.jp/about/partner/>

ザムストはバレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス、マラソン、ゴルフ、バドミントン、など、あらゆるスポーツにおいて限界に挑み続けるアスリートや団体を応援しています。



バレーボール: 西田有志、小野寺太志、ウィルフレド・レオン、佐々木千紜
バスケットボール: 富樫勇樹、河村勇輝、西田優大、寺嶋恭之介、トレイ・ヤング、山本麻衣
サッカー: 畠中楨之輔、宮市亮、福田師王、鷯木郁哉、小林祐介、佐藤亮
テニス: 綿貫陽介、日比野菜緒
マラソン: 岩出玲亜
スキージャンプ: 葛西紀明
ゴルフ: 穴井詩
バドミントン: 松友美佐紀
野球: 松本剛
他アスリート・チーム多数

<本リリースに関するお問い合わせ先>

日本シグマックス株式会社 経営企画室 広報 緒方・峠

TEL: 03-5326-3254 FAX: 03-5326-3201 MAIL: kouhou@sigmax.co.jp (広報共有)

■日本シグマックス株式会社について <https://www.sigmax.co.jp/>

所在地: 東京都新宿区西新宿 1-24-1

創業: 1973年6月1日

資本金: 9,000万円

代表取締役社長: 鈴木 洋輔

社員数: 241名(2024年3月末)

売上高: 127.3億円(2024年3月期)



日本シグマックスは「身体活動支援業[※]」を事業ドメインとし、幅広いフィールドで人々の身体に関わる製品・サービスを提供しています。創業以来「医療」の中でも「整形外科分野」に特化して、各種関節用装具やギプスなどの外固定材、リハビリ関連製品、冷却療法のためのアイシングシステム、治療・診断のための医療機器など、特徴のある製品を提供してまいりました。「スポーツ分野」ではスポーツ向けケア・サポートブランド『ZAMST』を中心に国内外で高い評価を受けております。また日常生活を支える「デイリーケア」、労働者の身体をサポートする「ワーカーズケア」といった分野で『MEDIAID』ブランド製品を拡大展開しております。

※身体活動支援業: 運動器障害の予防・診断・治療・回復、及び運動機能維持・向上を目的とした製品・サービスを提供することにより、人々がより健康で快適な生活を送れるよう支援する業(当社による造語)

<本リリースに関するお問い合わせ先>

日本シグマックス株式会社 経営企画室 広報 緒方・峠

TEL:03-5326-3254 FAX:03-5326-3201 MAIL:kouhou@sigmax.co.jp (広報共有)